

氏名：及川侖奈

所属：農学部食料生命環境学科 1年

派遣先：ガジヤマダ大学(インドネシア)

派遣期間：2016年2月21日～3月5日(14日間)

【主な指導内容】

10:00～11:30 . . . .

同一の内容を

13:30～15:00

午前、午後の2つの授業で行った。

- ・ 文法『日本語での自己紹介(読みと書き)、挨拶  
疑問文・否定文・肯定文の作り方の説明など』
- ・ 日本のカードゲームの紹介と実践
- ・ 習字
- ・ おにぎりづくり
- ・ 折り紙



今回、チューターは私のみだったため、**advance/beginner** を分けずに一つのクラスとして授業を行いました。それぞれ、**work** を行うときに内容として **advance/beginner** 向けに分けたものを行わせてもらいました。

【教室外での交流活動】

教室が終わると、現地の学生がいつも昼食や夕食に連れていってくれました。食べたいものをリクエストするとおすすめの場所にも連れていってくれます。現地の学生たちは、とてもフレンドリーでみんなのお陰で毎日がとても楽しいものになりました。土日の授業がない日は、多くの遺跡やマリオボロ通り、モールなどに足を運びました。今回、私は世界遺産でもあるボルブドゥールや水の王宮ともいわれているタマンサリに連れていってもら

いました。どちらもインドネシアの文明を知る貴重な体験となりました。



#### 【プログラムに参加しての感想】

初めての海外、初めての人の前に立っての授業ということで不安だらけでしたが、現地の学生みんなのおかげで、現地での生活にもすぐ慣れ毎日をととても楽しく過ごすことができました。今回このプログラムに参加してみて自分の中の世界観もかわったし、多くの人に出会い、多くの友達を持つことが出来ました。今でも、彼らとは連絡を取り合っています。また、新たに自分の目標を持つことも出来ました。授業では英語によってやり取りを行ったため彼らの英語が聞き取れずうまくコミュニケーションをとることが出来ない、また自分の伝えたいことがなかなか相手に伝えることが出来ないといったジレンマにも遭遇しました。そのため、もっと英語を勉強して今回いったインドネシアの人々とはもちろんですが、さらに世界の人ともコミュニケーションを取り合い自分の狭い世界観を変えていきたいと思うようになりました。また、インドネシア語を学び、再びインドネシアに行くといった目標もできました。今回は現地学生の手助けがあったおかげで何不自由なく生活することが出来ましたが、今度は自分の力だけでインドネシアで生活をし、自分を試してみたいさらには現地の言葉でコミュニケーションをとりたいと考えるようになりました。

#### 【目標の達成度、またその経緯】

目標達成はまだまだ未熟な部分はあるものの、現地学生と交流を楽しみ、異文化を体験しながら達成できたと感じています。特に英語力を含めたコミュニケーション能力では、授業の際にはじめ質問を聴き取ることが難しくなかなか答えることが出来なかったが、日がたつにつれて徐々に話していることが分かるようになりコミュニケーションをとることが出来るようになりました。

#### 【今後の展望】

今回のプログラムで、もっと英語を勉強する必要性と、さらに自分の世界を広げていきたいといった考えが強くなりました。今後は、さらなる語学の習得に励むとともに今回新たにもった自分の目標を達成するために頑張っていきたいと思います。